

2023年5月15日

各 位

会社名 堺化学工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢倉敏行
(コード番号 4078 東証プライム)
問合せ先 管理本部 渡辺敏樹
人事総務部長
電話番号 072-223-4111

〔訂正〕「堺商事株式会社株式（証券コード：9967）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」
の一部訂正について

堺化学工業株式会社は、2023年5月12日開催の取締役会において、堺商事株式会社（株式会社東京証券取引所スタンダード市場、証券コード：9967）の普通株式を金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。）による公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）により取得することを決議し、2023年5月15日から本公開買付けを開始しておりますが、2023年5月12日に公表した「堺商事株式会社株式（証券コード：9967）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」に一部訂正すべき箇所がありましたことから、下記のとおり訂正いたします。

訂正箇所には下線を付しております。

1. 買付け等の目的

(2) 本公開買付けの実施を決定するに至った背景、目的及び意思決定の過程並びに本公開買付け後の経営方針

- ① 本公開買付けの実施を決定するに至った背景、目的及び意思決定の過程
(i) 本公開買付けの背景

(訂正前)

(前略)

しかしながら、本中期経営計画の初年度にあたる2020年3月期では、米中貿易摩擦の影響により公開買付者グループの電子材料に関する収益が悪化したことから、営業利益は40.15億円、営業利益率1.4%、ROE3.3%となり、また、2021年3月期においては新型コロナウイルスの蔓延により、化粧品材料事業の収益が悪化したことから、営業利益は43.04億円、営業利益率3.4%、ROEマイナス3.6%となり、いずれも2019年3月期に比べて落ち込みました。他方で、本中期経営計画の3年目である2022年3月期においては、市況の回復とともに、特に電子材料事業を中心に好調に推移し、また、化粧品材料についても下半期から海外市場を中心に回復を見せたことから、営業利益は74.94億円、営業利益率9.4%、ROE8.7%となりました。その後、本中期経営計画の4年目である2023年3月期においては、下半期からの景気後退の影響で販売低迷が続き、利益を引き下げたことから、営業利益は44.07億円、営業利益率5.3%、ROE2.9%となっています。

(後略)

(訂正後)

(前略)

しかしながら、本中期経営計画の初年度にあたる2020年3月期では、米中貿易摩擦の影響により公開買付者グループの電子材料に関する収益が悪化したことから、営業利益は40.15億円、営業利益率4.6%、ROE3.3%となり、また、2021年3月期においては新型コロナウイルスの蔓延により、化粧品材料事業の収益が悪化したことから、営業利益は43.04億円、営業利益率5.1%、ROEマイナス3.6%となり、営業利益及びROEは2019年3月期に比べて落ち込みました。他方で、本中期経営計画の3年目である2022年3月期においては、市況の回復とともに、特に電子材料事業を中心に好調に推移し、また、化粧品材料についても下半期から海外市場を中心に回復を見せたことから、営業利益は74.94億円、営業利益率9.4%、ROE8.7%となりました。その後、本中期経営計画の4年目である2023年3月期においては、下半期からの景気後退

の影響で販売低迷が続き、利益を引き下げたことから、営業利益は44.07億円、営業利益率5.3%、ROE2.9%となっています。

(後略)

2. 買付け等の概要

(2) 日程等

(訂正前)

② 届出当初の買付け等の期間

2023年5月15日(月曜日)から2022年7月12日(水曜日)まで(43営業日)

(訂正後)

② 届出当初の買付け等の期間

2023年5月15日(月曜日)から2023年7月12日(水曜日)まで(43営業日)

(7) 買付代金

(訂正前)

3,068,019,000円

(注)「買付代金」は、本公開買付けの買付予定数(652,770株)に、1株当たりの本公開買付価格(3,068,019,000円)を乗じた金額です。

(訂正後)

3,068,019,000円

(注)「買付代金」は、本公開買付けの買付予定数(652,770株)に、1株当たりの本公開買付価格(4,700円)を乗じた金額です。

以上